

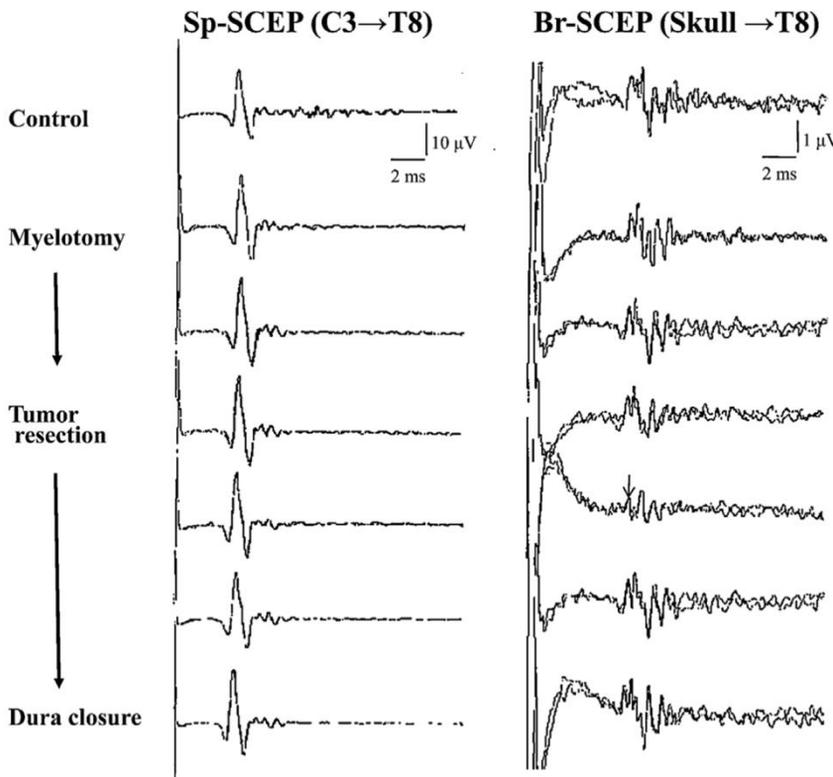
Patient Information

| | | | |
|---------|--|-----|-------------|
| ID | #### | 主治医 | XXX |
| 性別 | 男性 | 検者 | XXX |
| 年齢 | 73歳 | 手術日 | ##年 ##月 ##日 |
| 診断および術式 | 頸髄腫瘍、腫瘍摘出術 | | |
| Comment | <p><u>記録電位</u> Sp-SCEP. Br-SCEP</p> <p><u>記録部位 (モンタージュ)</u> T8 に設置した硬膜外電極</p> <p><u>所見</u> 脊髄腫瘍摘出時にBr-SCEPの振幅の低下を認めたが、Sp-SCEPに変化はなかった。 Br-SCEPの電位が回復するまで手術操作を中止し、回復の後に手術を再開した。</p> <p><u>判定</u> 術後麻痺は生じなかった。レスキュー症例。</p> | | |

赤字で示した箇所の明記が必須です。

Sp-SCEP, Br-SCEP

被検筋、スケールが記載された記録を提出するか、余白に明記してください。



申請者の署名 (記名) が必要です。

Signature

○ × △ □